

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務																																							
業 務 概 要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業 務 名 称</th> <th>業 務 内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">新門司沖浚渫土砂利活用検討業務</td> </tr> <tr> <td>計画準備</td> <td>計画準備</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>脱水固化体の活用検討</td> <td>脱水固化体の強度把握方法の検討 結果の解析及び特性評価</td> <td>式 式</td> <td>1 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>改質土の活用検討</td> <td>簡易配合試験方法の検証検討 結果の解析及び特性評価 現地試験施工に向けた検討</td> <td>式 式 式</td> <td>1 1 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協議・報告</td> <td>協議・報告</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回</td> </tr> <tr> <td>成果物</td> <td>業務完成図書作成</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					業 務 名 称	業 務 内 容	単 位	数 量	摘 要	新門司沖浚渫土砂利活用検討業務					計画準備	計画準備	式	1		脱水固化体の活用検討	脱水固化体の強度把握方法の検討 結果の解析及び特性評価	式 式	1 1		改質土の活用検討	簡易配合試験方法の検証検討 結果の解析及び特性評価 現地試験施工に向けた検討	式 式 式	1 1 1		協議・報告	協議・報告	回	3	事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回	成果物	業務完成図書作成	式	1	
	業 務 名 称	業 務 内 容	単 位	数 量	摘 要																																			
	新門司沖浚渫土砂利活用検討業務																																							
	計画準備	計画準備	式	1																																				
	脱水固化体の活用検討	脱水固化体の強度把握方法の検討 結果の解析及び特性評価	式 式	1 1																																				
	改質土の活用検討	簡易配合試験方法の検証検討 結果の解析及び特性評価 現地試験施工に向けた検討	式 式 式	1 1 1																																				
	協議・報告	協議・報告	回	3	事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回																																			
成果物	業務完成図書作成	式	1																																					
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 北原 政宏 北九州市門司区西海岸1-4-40																																							
契約年月日	令和6年9月11日																																							
契約業者名	令和6年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体																																							
契約業者の住所	東京都港区西新橋1-14-2																																							
契約金額	26,510,000円(税込み)																																							
予定価格	26,884,000円(税込み)																																							
随意契約によることとした理由	<p>本業務を的確かつ円滑に実施するためには、脱水固化体及び改質土に関する豊富な知見や脱水固化体及び改質土を建設材料として港湾構造物等へ利用するにあたっての豊富な技術の知見、さらには有識者との調整能力を有している必要がある。</p> <p>以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験及び能力(技術者資格等、業務執行技術力)、実施方針(業務理解度、実施手順等)、特定テーマに対する技術提案(的確性、実現性)の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「改質土の簡易配合実験の検証にあたっての課題と対応策」についての着眼点や問題点、具体的な解決方法等を評価し、令和6年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体が最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。</p>																																							
業務場所	—																																							
業種区分	建設コンサルタント等																																							
履行期間(自)	令和6年9月11日																																							
履行期間(至)	令和7年3月10日																																							
備考																																								

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。